

三浦半島の秋まき5月どり栽培における加工・業務用寒玉系キャベツの有望品種の特性

加工・業務用途に向く寒玉系キャベツは、抽苔等の問題から4～5月が端境期となっており、国産ニーズが高まっています。そこで、秋まき5月どりができ、肥大性や歩留まりのよい有望品種として、‘かんろく（秋まき早生寒玉6号）’、‘さつき女王’、‘来喜’、‘さつき王’、‘KA796（N0553）’を選定し、その特性および作型を明らかにしました。



表1 秋まき5月どりに適する寒玉系キャベツ品種の特性及び収量性 (H20)

品種	結球重 (g)	結球緊度 (g/cm ³)	芯重/結球重 (%)	抽苔程度	収量 (t/10a)
さつき王	1,473	0.65	5.7	1.0	8.6
さつき女王	1,275	0.59	5.7	1.5	7.4
かんろく(寒玉6号)	1,432	0.58	5.2	1.0	8.4
KA796 (N0553)	1,192	0.61	3.7	0.4	7.1
来喜	1,369	0.59	5.7	1.0	8.1

播種：平成20年10月18日、栽植密度：51×33cm（5,941株/10a）。抽苔程度3に達するまでは出荷可能と想定。

表2 各品種の収穫時期 (H18-H20)

品種	収穫期間			5割収穫期 ^z		
	H18	H19	H20	H18	H19	H20
さつき王	4/25-5/16	5/6-5/12	4/27-5/14	5月2日	5月8日	5月1日
さつき女王	5/8-6/6	5/12-5/23	4/22-5/14	5月23日	5月23日	5月7日
かんろく(寒玉6号)	—	5/8-5/16	4/22-5/7	—	5月12日	5月1日
KA796 (N0553)	—	5/8-5/23	4/22-5/7	—	5月12日	5月1日
来喜	—	—	4/22-5/14	—	—	5月1日

^z延べ収穫個数が全体の5割に達した日



図1 ‘かんろく’ 外観



図2 ‘かんろく’ 縦断面の外観